



ウイトラレポート 2008 年 12 月号

「 BRIC's の携帯電話市場 」

はじめに

2007 年現在、3G の利用者は世界で約年間 1 億人のペースで増えている。携帯電話全体の利用者数が年間 10 億人近く増えていることを考えるとこのペースは決して速いものとは言えないが、欧米や日本などの先進国では加入者数が飽和しており、伸びはごくわずかであることを考えれば、日本以外の先進諸国でも 3G への移行が始まっていると考えることができるだろう。

同時に、次世代の技術として注目を集めている LTE の標準化がほぼ終わり、日本のドコモをはじめとして先進的な移動通信事業者は今後 LTE に投資を移していくものと思われる。現在世界的に広まっている GSM、GSM の後継で高速データ通信を提供できる WCDMA と HSPA、そして、さらに高速で 4G につながるとみられる LTE が今後どのように発展していくか、見極めが困難な時期に来ていると考えられる。

このような状況下で将来を占うのに重要な要因として巨大な人口を抱え経済発展が著しい BRIC's の動向がある。今回はこの BRIC's の携帯電話の動向、特に 3G の導入計画と現状を調査して、将来の世界的動向を占う参考としたい。